

発 言 通 告 書 要 旨 (1 枚目 / 全 2 枚)

氏 名 上 田 朋 和

発言番号		発言事項及び発言要旨	備 考
1	(1)	<p>台湾との交流について コロナ禍で止まっていた交流の再開について 7月には小松台北便が週9便の運航となり、コロナ禍前と同水準の運航となる予定である。 また、来年、北陸新幹線加賀温泉駅が開業することから多くのインバウンド需要の増加が想定される。 そのような中、コロナ禍前は市として台湾の各市と様々な交流を行ってきたが、アフターコロナとして交流を再開すべきと考える。 そこで、市の今後の交流再開に向けた事業について問う。</p>	
	(2)	<p>今後の民間交流の取組について 市としての取組もとても重要だが、継続的な交流や交流活動の拡大に向けては民間交流の拡大が必要と考える。 そのような中、市としてどのように取り組んでいくのか、所見を問う。</p>	
2	(1)	<p>並行在来線について 現在までの県との議論の内容について 北陸新幹線加賀温泉駅開業まであと1年を切った。 そのような中、並行在来線がIRに移管される予定であるが、市として県とどのような議論を行ってきたのか、概要について問う。</p>	
	(2)	<p>沿線自治体への負担について 並行在来線がIRに移管された際に沿線自治体に対しては負担金が課されるが、現状いくらと想定しているのか、所見を問う。</p>	
	(3)	<p>金沢駅から大聖寺駅までの直通運転について 電車利用の方々から、金沢駅からの普通電車は、現在、小松駅止まりが全体の4割と多く、大聖寺駅までの直通運転の増便を切望していると聞く。 今後IRに移管された際、特急電車がなくなる見込みであり、普通電車の特急通過待ちがなくなることから、直通運転を増やすことも可能ではないかと思う。 そこで、県に対しどのようなアプローチをしているのか。 また、直通運転の増便の可能性について、所見を問う。</p>	

発 言 通 告 書 要 旨

(2枚目/全2枚)

氏 名 上 田 朋 和

発言番号		発言事項及び発言要旨	備 考
	(4)	<p>福井県側との連携・連絡体制について</p> <p>加賀市は福井県と隣接しているので、より密接に連携していく必要があるが、市としてどのような連携・連絡体制を考えているのか、所見を問う。</p>	
3	(1)	<p>子育て支援情報発信事業について</p> <p>事業の概要について</p> <p>子育て支援情報発信事業の概要について問う。</p>	
	(2)	<p>SNS以外での発信について</p> <p>SNSでの発信は、若い世代に対しては、日々の発信により視覚的に情報を伝えられること、ユーザーとの様々なコミュニケーションが図られることなど効果的だと考える。</p> <p>しかしながら、拡散力が低い点やなかなか欲しい情報にたどり着かないなどの可能性も考えられる。</p> <p>そこで、ホームページ等とのセットで発信したほうが効果的だと考えるが、所見を問う。</p>	
	(3)	<p>今後の予算について</p> <p>今回の補正予算では273万円が計上されている。</p> <p>本予算は、今年度限りのものなのか、来年度以降も継続して予算を計上していくのかを問う。</p>	
	(4)	<p>子育て施策のPRについて</p> <p>加賀市は、全国的に見ても子育て世代に対しての施策が充実している。</p> <p>しかしながら、加賀市に住んでいる方からすると当たり前と感じてしまう。</p> <p>そこで、市外へのPRはもちろんだが、市民の方々に、より施策の充実を感じてもらい、市外の方へSNSや口コミなどでPRしてもらおう施策も必要と考えるが、所見を問う。</p>	